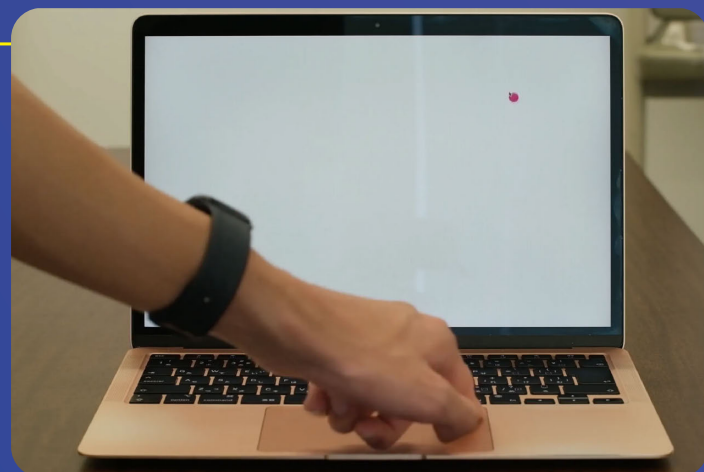


母音, 子音の順に選択を行う 間接タッチ用かな文字入力手法

背景

間接タッチ

- ・出力面とは別の入力面に対するタッチ
- ・スマートテレビ, HMD の操作にも活用



間接タッチ × 文字入力

- ・入力面を視認せずに, 他の物体を見ながら入力可能
- ・正確なタッチダウンが困難 → 既存手法は利用困難

アプリケーション例



提案手法

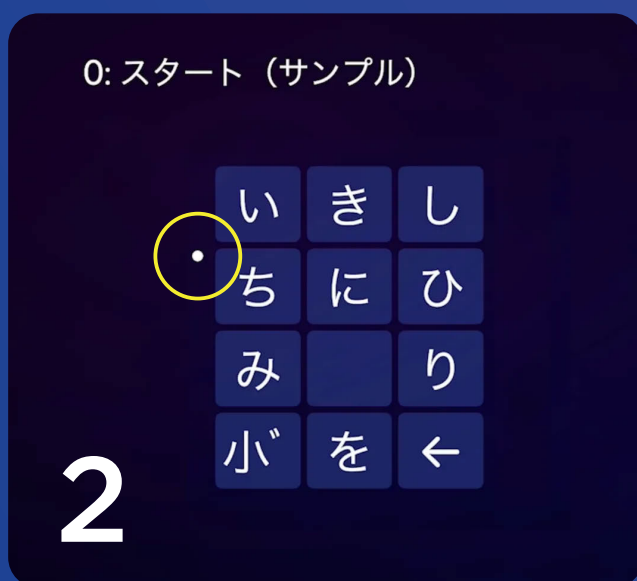
スマートウォッチを用いた 間接タッチ用 かな文字入力手法

母音選択

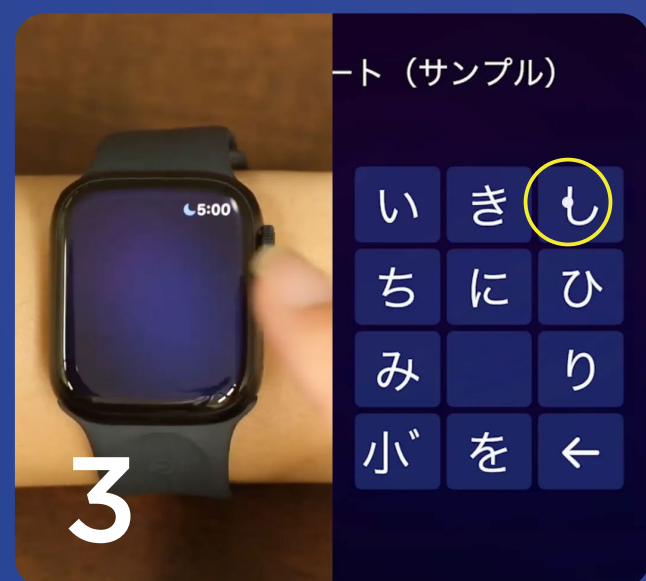
子音選択



母音に応じて
ベゼルからスライドイン/
画面中央にタッチダウン



スマートウォッチの
タッチ位置に応じて
出力面にポインタが表示

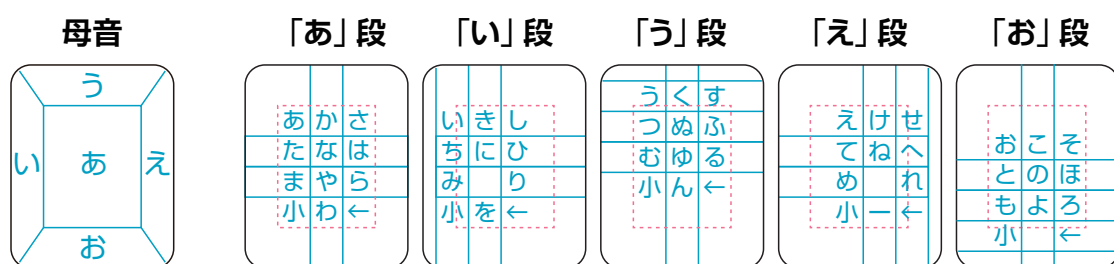


入力対象の子音まで
ポインタを移動させて
タッチアップ

手法設計の特徴

- ・母音 → 子音入力
- ・フリック配列
- ・ベゼルからのスワイプ

➡ 入力面を視認せず、ジェスチャを正確に開始可能



母音, 子音の判定領域

0: にゅうりよくするぶんしょう
にゅうりよくぶん

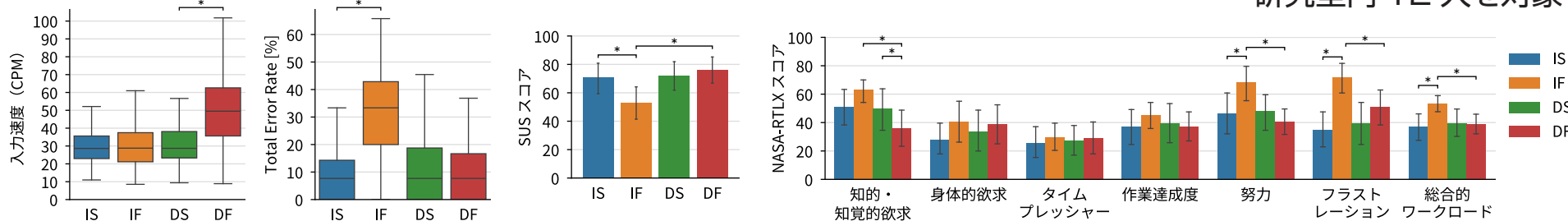
あ か さ
た な は
ま や ら
小 わ ←

出力面の表示

実験

間接／直接タッチにて, 本手法／フリック入力を用いて文字入力

研究室内 12 人を対象



● 間接タッチ

フリック入力との比較より
入力速度：同程度 / エラー率：低
➡ 本手法の有用性が示唆

● 直接タッチ

・パフォーマンスは改善しない
・ユーザのアンケート結果より
ファットフィンガ問題への有効性

議論, 今後の展望

インタフェースの改善, 追加実験 (研究室外実験, MR 環境, 長期実験)